

INON

CANON EOS KissⅢ対応水中ハウジング

X1-LZ / X1-NZ

陸上の一眼レフカメラと全く同じ
フォーカス/ズーム操作を
可能にしたノンダイアルシステム



ストロボシンクロ電気コネクターの
水没トラブルを解消し、水中でのストロボ脱着
そして確実な増灯システムを確立した光接続システム

世界初の新機能を満載して登場したイノンX1-Zが新たな機能を盛り
込み、バージョンアップしてより使い易くなりました
イノンX1-LZ / X1-NZの登場です

絶妙なまでの水中バランスの良さ。EOS KissⅢに完全対応

CANON EOS Kissシリーズに合わせ極限までコンパクトに設計されたボディは、ストロボアームを直接取り付け可能。また、マニュアルフォーカス操作/ズーム操作のシステムに、イノン独自の「ノンダイアルシステム」を採用し、ボディ横の小さなフォーカスノブを排除しました。これによってストロボ取り付け用のベースステーやフォーカスノブ用のグリップといった、重くてかさばるオプションを付け足す必要がありません。陸上重量約1,480g、水中重量約190g、W197×H151×D112mm^{※1}とは、単なるカタログデータではありません。水中での撮影時は勿論、陸上の持ち運び時にも、軽量、コンパクトを実感して頂けます。その上、従来のEOS Kissシリーズにも対応可能^{※2}。お手持ちの機材を無駄にしません。

※1：X1-NZでの計測値

※2：CANON EOS Kiss、NEW EOS Kissの2機種には、機種変更改造での対応となります。ご購入後の改造は、有償とさせていただきます

左手でレンズを回し右手でカメラを握る。陸上一眼レフカメラと同一操作のノンダイアルシステム

イノンが開発したノンダイアルシステムは従来の小さなフォーカスノブに替わり、ポートの外周を回転する操作リング^{※3}によって、マニュアルフォーカス操作^{※4}/ズーム操作^{※5}を行うことの出来る画期的なシステム。陸上で一眼レフ撮影と同様、脇を締めた自然なフォームでの撮影が可能となる為、安定した手ブレの少ない撮影が可能です。その上、操作リングのギア比を約0.7^{※6}とし、素早い繰り出しを実現。例えば、CANON EF100mmMacroでは、最短まで繰り出す為に、レンズのマニュアルフォーカスリングを約1.5回転する必要がありますが、ノンダイアルシステムを用いれば僅か1回転。小さなフォーカスノブを何回転もする必要がある従来のシステムとは、比較にならない良好な操作性を確保しています。

[最短～∞]までの操作が約1回転で済む為、操作リング（ズーム/フォーカスリング）に、使用レンズ本体のズーム指標/距離指標を書き写して、水中でも、ハウジング外部から、現在の画角や被写体までの距離を確認する事が可能となります。X1-LZ/X1-NZには、代表的なEFレンズのズーム指標/距離指標を元に作成された、目盛りシールを添付^{※7※8}。マクロ撮影時や、水中での撮影データ確認にご利用頂けます。

※3：弊社Dome Port使用時のみ、ハウジング本体のズーム/フォーカスリングでの操作となります

※4：単焦点レンズ使用時

※5：ズームレンズ使用時

※6：弊社MF Port、従来のX1 Port使用時、MRS Port使用時は1.0となります

※7：EF15mmFisheye、EF20mm、EF50mmMacro、EF100mmMacroの単焦点レンズ、及びEF22-55mm、EF28-80mmのズームレンズ

※8：無地の目盛りシールも添付。ご使用レンズのデータを記入出来ます



TTLオートストロボの水中脱着が可能に。周辺機器制御の要、光接続システム^{※9}



従来の水中カメラシステムの最大の弱点はストロボコネクタ部。電気の接点なので、一滴の水が入っただけで使用不能となるからです。それ故、トラブルも多く、セッティングに細心の注意が必要でした。イノンでは、光信号でストロボを制御する「光接続システム」を開発する事で、この問題にピリオドを打ちました。ハウジングから発信された光信号は、光ファイバーによってストロボへ伝えられます。

防水の必要が無い為、コネクタ部の水没によるリスクはゼロ。ストロボの水中での脱着は勿論、水中でのストロボ増灯にも、弊社製/他社製^{※10}に関わらず、様々な接続方法で柔軟に対応する事が出来ます。

X1-LZ / X1-NZでは、ストロボを制御する光信号に、ターゲットライトの制御信号を多重化しており、更に進化した光接続が可能です。弊社リングストロボ「Z-22」の内蔵ターゲットライト^{※11}、弊社外付けターゲットライト「A1」^{※12}をハウジング側スイッチの操作で瞬時にON / OFF可能。勿論、これらの接続時にも、シャッター操作に連動してターゲットライトが消灯し、写真への写り込みを防止します。

X1-NZには光コネクタが2個、X1-LZには、光コネクタ2個に加えて従来のニコノス5ピン電気コネクタ1個を装備。光信号は、容易に2つに分岐出来る^{※13}為、X1-NZで4個、X1-LZでは5個のストロボ^{※14}を、直接接続可能。更なるスレーブストロボの増灯^{※15}にも対応しています。

※9：詳しくは光接続システムのページをご覧ください
※10：イノンZ-22、ニコノス用TTL露光ストロボ（ニコノスSBシリーズ/シアードシーYS-30 TTL Duo、YS-90 TTL Duo、YS-120 Duo、YS-350TTLPRO）に対応します
※11：内蔵ターゲットライトをハウジング本体から制御する為には、TTL露光センサーZ、或いはストロボコネクタZが必要となります
※12：本年発売予定（発売日未定）

※13：光接続システムオプションのW光ケーブルを使用
※14：弊社リングストロボZ-22の場合
※15：弊社光接続システムによるTTL光スレーブケーブル接続、或いはワイヤレスTTLスレーブにて可能となります。詳しくは光接続システムのページをご覧ください

マクロ撮影の強みにサポート。内蔵式シャッター連動ターゲットライト（X1-LZのみ）

シャッターを半押しすると点灯。シャッターを離すと約8秒後に消灯してバッテリーを節約。その上、フィルム露光時には自動的に消灯して写り込みを防ぐ、高機能ターゲットライトを内蔵。撮影動作を止める事無く、ボディ後部のターゲットライトスイッチで瞬時にON / OFF可能です。更に、マクロレンズを用いた最短撮影時から、被写体に光が当たる無理の無い設計で、従来の汎用外付けターゲットライトのネックであった、面倒なコードの取り回しやコードからの水漏れリスク、取り付け角度合わせ、メイン電源のON / OFF、そしてスローシャッター時のライト光の写り込みを全てクリアしています。



臨機応変。ストロボのスイッチをボディ側で簡単操作。ターゲットライトのON / OFFも可能

リアボディ左下には、ストロボの発光を瞬時にON / OFF出来る「ストロボスイッチ」、右下には、内蔵^{※16} / 外付け^{※17} / ストロボ内蔵のターゲットライト^{※18}全てをON / OFF可能な「ターゲットライトスイッチ」を内蔵。ハウジングを両手で構えたまま、それぞれ、左手 / 右手の親指で瞬時に操作可能です。ファインダーから目を離す必要は全く無いのです。撮影の流れを止める事無く、次のシャッターチャンスを狙う事が出来るのです。



※16：X1-LZに装備
※17：弊社外付けターゲットライトA1（本年発売予定）使用時
※18：弊社リングストロボZ-22使用時

アイポイント伸ばすピックアップファインダーには、視度補正機能を内蔵



X1-NZ / X1-LZのピックアップファインダーは、独創的な光学設計（2つのレンズユニットから構成）によって、カメラ本来のアイポイントに、更に約17mm延長。マスク越しでも、ファインダー像をケラれる事無く、四隅まで見る事が出来ます。

外側のレンズユニットを回転させる事で、水中でも視度補正（±2dpt.）を無段階に行う事が出来ます。また、内側のレンズユニットには、



TTLオートストロボの適正発光を知らせる緑色LED / ブザーを備え、ファインダーから目を離す事無く、適正露出の確認が行えます^{※19}。X1-LZには、ストロボレディを知らせる赤色LEDも装備^{※20}。ストロボのチャージ状態さえ、ファインダー内から確認可能なのです。

※19：ストロボがTTL発光にセットされている時。マニュアル発光の際には、露出適正、及び露出オーバー時に、LED / ブザー共に作動
※20：ニコノス5ピン電気コネクタでの接続時のみ作動

自動的に点灯する液晶パネル照明LED



シャッター半押しだけでなく、カメラに操作を加えた際、自動的に点灯して、その後消灯する液晶パネル照明LED。情報を見たい時はいつでも、液晶パネルが明るく照らし出されているのです。約8秒間の点灯後、自動的にOFFへ戻ります。点灯させる為にボタンを押すという、煩わしい動作は必要ありません。光源のLEDには、高輝度、低消費電力タイプを採用しています。

カメラセッティングが容易な3次元カメラガイドシステム

カメラのセッティングはいとも簡単。ハウジングの中心へ、カメラをそっと落とし込むだけで、ガイドシステムがカメラを定位置へ誘導します。後は固定ネジを締めるだけ。ギアの噛み合わせでイライラしたり、わざわざガイドレールを取り付けたりする必要もありません。



その他

レンズポートには、ノンダイアルシステム対応のMF Portシリーズ、MRS Port、そして従来のX1 Port全てを使用する事が可能^{※21}。多彩なレンズワークを楽しめます。その上、全てのポートには、マルチコーティングが施された光学ガラスレンズを採用。フレア / ゴースト等の発生を抑えて、プロフェッショナル撮影にも応えます。防水の要、メインOリングには含油タイプを使用。一定期間、オイルが自然に染み出してOリングを保護します。色は黄色、Oリングの大敵である髪の毛やごみが付着しても見つけやすいのです。メインOリングが接する、リアボディのOリング結合同面、凸部に守られ傷つき難くなっています。不用意に開くことの無い、ロック付きパッチン錠を採用。水中での不用意な事故を防止します。万一の水漏れを知らせるリークセンサー内蔵。ファインダー内緑色LEDの点滅とブザーの2通りで確実に知らせます。

※21：詳しくはX1 Portのページをご覧ください

イノンX1-LZ / X1-NZ 主な仕様

対応	イノンX1-LZ	イノンX1-NZ
カメラ	CANON EOS Kiss III、NEW EOS Kiss、EOS Kiss	
レンズ	CANON EF15mm Fisheye ~ EF180mm Macro	
ストロボ	イノンZ-22 / ニコノスSBシリーズ / シアードシーYSシリーズ	
ターゲットライト	イノンA-1（本年発売予定）	
操作部	シャッターボタン、モードダイヤル、電子ダイヤル	
カメラ	露出補正・手動絞り数値設定ボタン、部分測光 / AEロックボタン AFフレーム選択ボタン、ファンクションボタン	
レンズ	マニュアルフォーカスリング（準焦点レンズ使用時）、ズームリング（ズームレンズ使用時）	
ストロボ	ストロボスイッチ	
ターゲットライト	ターゲットライトスイッチ	
コネクタ部	イノン光コネクタ	2
	ニコノス電気コネクタ	1
		△（オプション改造にて取付可能）
ファインダー部	アイポイント	カメラ本体のアイポイント+17mm
	視度補正	±2dpt.（無段階、水中での調整可）
	TTL O.K./浸水モニター	○
	TTL O.K./浸水ブザー	○
	ストロボチャージモニター	○
		△（オプション改造にて取付可能）
その他	内蔵式シャッター連動	△（オプション改造にて取付可能）
	ターゲットライト	外付ターゲットライト制御は可能）
寸法	W197×H151×D114mm	W197×H151×D112mm
陸上重量（電池を除く）	約1,570g	約1,480g
水中重量	約190g（NEW EOS Kiss、EF28～80mm、MF標準ポート使用時）	
材質	耐食アルミ合金（AC7A）	
塗装	高級焼付塗装：白 / 黒	黒
価格	白 ¥208,000	¥178,000
	黒 ¥198,000	¥168,000

2001年2月現在

ACCESSORIES



■キャリングベルト S:¥1,500 / L:¥1,500
陸上での持ち運びに便利。全長240mmのレギュラーサイズと、全長300mm、アームフロートSが取り付けられ持ち運びが一層楽なLサイズがあります。



■ボディキャップ ¥4,700
持ち運び時や保管時に、ポートOリングとの接触面を保護します。気圧の下がる航空機での輸送を考慮して、空気が抜ける構造になっています。

INON

有限会社イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台2-18-9